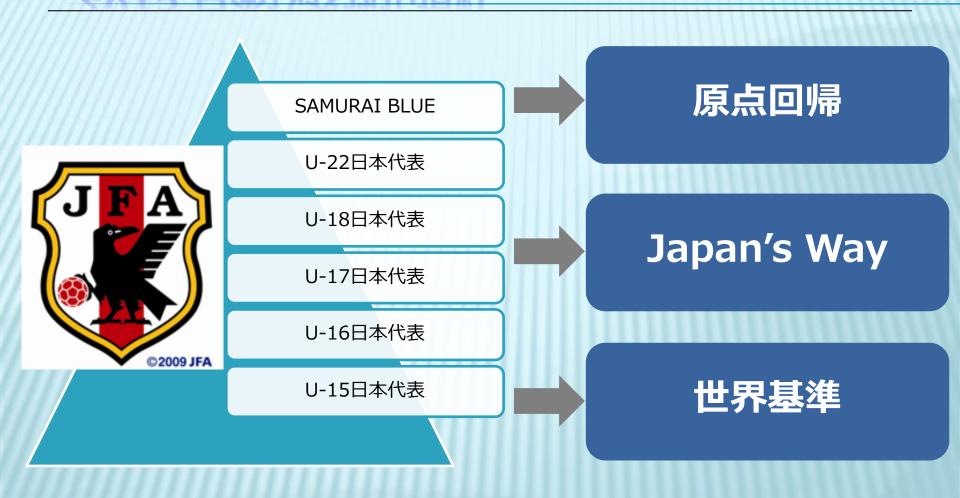
2015 日本代表 強化指針

2015年4月 技術委員会



2015 日本代表強化指針





~サッカーの本質に立ち返る

◆ ゴールに向かう意識

(Toward the Goal)

- ⇒ 奪った後の優先順位は、まずゴールへ。
- → DFの裏を狙い、縦への推進力をチーム、個人で出すこと。

◆ ボールの奪い合いの攻防で勝つ

(Duel on 1vs1)

- 球際の闘い、フィジカルコンタクトで勝つこと。
- → 相手からボールを奪いに行く。奪いに来られても失わない。

ペナルティエリア内の質の向上

(Quality in the BOX)

- → シュートを打つこと、打たせないことへの拘り。→ アグレッシブさ、泥臭さ、執念をプレーで表現する。



Japan's Way ~日本人選手のストロングポイントを活かす

◆ スピード&テクニックで勝負する

(Speed & Technique)

- 動きながらプレーし、早くボールを動かす。
- → 個人でもグループでも積極的に仕掛けていく。

◆ コレクティブに闘う

(Collective)

- → 全員攻撃、全員守備。チームの勝利のために闘う。
- → 攻守に複数の選手が連動し、アクションを起こす。

◆ 運動量/走力で圧倒する

(Keep Moving)

- → 「PASS&GO」で足を止めない。動きながらプレーをする。
- → 攻守ともに相手に走り負けない。

世界基準へ

~課題の克服



◆ フィジカルの更なる向上

(Physical Ability)

- → 強さや太さ、逞しさや激しさを求めていく。
- → Duelでの勝負強さ。簡単に倒れない。

◆ 戦術的柔軟性

(Tactical Flexibility)

- → 相手の特徴や戦術によって闘い方を柔軟に変化させる。
- → 自分たちの望む展開にならずとも、したたかに闘い勝点を得る。

♦ 勝者のメンタリティ獲得

(Winning Mentality)

- → 闘う姿勢を90分続ける、あきらめない、下を向かない
- → 勝負、ディティールに拘り、貪欲に勝つことだけを考える。
- → 相手にコンプレックスをもたない。